
第3回 三朝町議会定例会会議録（第7日）

平成26年3月12日（水曜日）

議事日程

平成26年3月12日 午前10時開議

（質 疑）

- 日程第1 議案第5号 平成26年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第6号 平成26年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第7号 平成26年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第8号 平成26年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 平成26年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 平成26年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 平成26年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 平成26年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第13号 平成26年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第14号 平成26年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第11 議案第15号 平成26年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第12 議案第16号 平成26年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第13 議案第17号 三朝町職員の修学部分休業に関する条例の設定について
- 日程第14 議案第18号 三朝町職員の高齢者部分休業に関する条例の設定について
- 日程第15 議案第19号 三朝町空き家等の適正管理に関する条例の設定について
- 日程第16 議案第20号 三朝町子ども・子育て会議条例の設定について
- 日程第17 議案第21号 三朝国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の設定について
- 日程第18 議案第22号 三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第23号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第20 議案第24号 三朝町社会教育委員に関する条例の一部改正について
- 日程第21 議案第25号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第26号 三朝町農林漁業者健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- 日程第23 議案第27号 三朝町ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の廃止について
- 日程第24 議案第28号 三朝町高齢者介護予防及び生活支援事業手数料徴収条例の廃止について
- 日程第25 議案第29号 町道路線の変更について
- 日程第26 議案第30号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第27 議案第31号 平成25年度三朝町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第28 議案第32号 平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第29 議案第33号 平成25年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第30 議案第34号 平成25年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第31 議案第35号 平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第32 議案第36号 平成25年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第37号 平成25年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第34 議案第38号 平成25年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第35 議案第39号 平成25年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第36 議案第40号 平成25年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）
-

本日の会議に付した事件

（質 疑）

- 日程第1 議案第5号 平成26年度三朝町一般会計予算
- 日程第2 議案第6号 平成26年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算
- 日程第3 議案第7号 平成26年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 日程第4 議案第8号 平成26年度三朝町介護保険事業特別会計予算
- 日程第5 議案第9号 平成26年度三朝町簡易水道事業特別会計予算
- 日程第6 議案第10号 平成26年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算
- 日程第7 議案第11号 平成26年度三朝町下水道事業特別会計予算
- 日程第8 議案第12号 平成26年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算
- 日程第9 議案第13号 平成26年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算
- 日程第10 議案第14号 平成26年度三朝町財産区特別会計予算
- 日程第11 議案第15号 平成26年度三朝町水道事業会計予算
- 日程第12 議案第16号 平成26年度三朝町国民宿舎事業会計予算
- 日程第13 議案第17号 三朝町職員の修学部分休業に関する条例の設定について

- 日程第14 議案第18号 三朝町職員の高齢者部分休業に関する条例の設定について
- 日程第15 議案第19号 三朝町空き家等の適正管理に関する条例の設定について
- 日程第16 議案第20号 三朝町子ども・子育て会議条例の設定について
- 日程第17 議案第21号 三朝国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の設定について
- 日程第18 議案第22号 三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第19 議案第23号 三朝町基金条例の一部改正について
- 日程第20 議案第24号 三朝町社会教育委員に関する条例の一部改正について
- 日程第21 議案第25号 三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第22 議案第26号 三朝町農林漁業者健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第23 議案第27号 三朝町ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の廃止について
- 日程第24 議案第28号 三朝町高齢者介護予防及び生活支援事業手数料徴収条例の廃止について
- 日程第25 議案第29号 町道路線の変更について
- 日程第26 議案第30号 三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- 日程第27 議案第31号 平成25年度三朝町一般会計補正予算（第7号）
- 日程第28 議案第32号 平成25年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 日程第29 議案第33号 平成25年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第30 議案第34号 平成25年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第31 議案第35号 平成25年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第32 議案第36号 平成25年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 日程第33 議案第37号 平成25年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）
- 日程第34 議案第38号 平成25年度三朝町財産区特別会計補正予算（第1号）
- 日程第35 議案第39号 平成25年度三朝町水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第36 議案第40号 平成25年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）

出席議員（12名）

1 番 石 田 恭 二

3 番 池 田 雅 俊

5 番 中 信 貴美代

7 番 清 水 成 真

2 番 吉 田 道 明

4 番 能 見 貞 明

6 番 山 口 博

8 番 藤 井 克 孝

9 番 福 田 茂 樹

10 番 平 井 満 博

11 番 牧 田 武 文

12 番 山 田 道 治

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 ————— 石 井 秀 己 副主幹 ————— 小 椋 智 子

説明のため出席した者の職氏名

町長	—————	吉 田 秀 光	副町長	—————	森 脇 光 洋
教育長	—————	朝 倉 聡	会計管理者	—————	山 根 智 美
危機管理課統括監	—————	松 原 茂 隆	総務課長	—————	山 根 猛 昭
総務課参事	—————	吉 田 弘 幸	財務課長	—————	大 村 哲 也
税務課長	—————	石 原 伸 二	町民課長	—————	小 椋 泰 志
健康福祉課長	—————	前 田 敦 子	農林課長	—————	岩 山 靖 尚
企画観光課長	—————	椎 名 克 秀	建設水道課長	—————	早 苗 睦 巳
教育総務課長	—————	遠 藤 英 臣	生涯学習課長	—————	西 田 寛 司
生涯学習課参事	—————	松 原 照 宗	農業委員会事務局長	—————	真 嶋 峰 和
国民宿舎支配人	—————	小 椋 誠	教育委員会委員長	—————	西 田 醇
農業委員会会長	—————	山 本 雅 之	代表監査委員	—————	和 泉 澤 吉

午前 9 時 5 5 分開議

○議長（山田 道治君） おはようございます。

ただいまの出席議員は 12 名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日届け出のあった欠席者は、議員、当局ともございません。以上、報告します。

本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第 1 議案第 5 号 から 日程第 3 6 議案第 4 0 号

○議長（山田 道治君） お諮りいたします。議事の進行上、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 3 6 までの 3 6 件の議案を一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 御異議なしと認めます。よって、この際、日程を変更して、日程第 1 から日程第 3 6 まで、すなわち議案第 5 号から議案第 4 0 号までの 3 6 件の議案を一括議題といたします。

これより質疑に入ります。

質疑は、議事の進行上、1 件ごとに議案の順を追ってすることといたします。

議案第 5 号、平成 2 6 年度三朝町一般会計予算について、本案に対する質疑は、ページの順を追って行います。

まず、第 2 表、債務負担行為、第 3 表、地方債、6 ページ、7 ページについて、質疑ありませんか。

平井議員。

○議員（10番 平井 満博君） ふるさと応援寄附金に係る利用券の引きかえについてですけども、旅館利用券 9 割に相当するという額、これ 9 割だったでしょうかいね。ちょっと詳しく説明、再度説明をお願いします。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） ふるさと応援寄附金にかかります旅館利用券の引きかえ料でございますが、寄附金に対しましての半額相当分を旅館利用券としてお送りをしております。そのうちの、実際に旅館で使われました際に、1 割部分につきましては旅館さんに御負担をいただくと、町は 9 割部分の分を使用料としてお支払いしているものでございます。

○議長（山田 道治君） 1 0 番。

○議員（10番 平井 満博君） 基本的にはふるさと応援寄附金の還元については、今、旅館さんの宿泊の部分だけになっていますけれども、やっぱり三朝町の思いということのある人は、結構その農産品というか、町長も言われております米はおいしいんだよ、宣伝せないけんという形の中でいつも言われておりますんで、やっぱりそういった農産品も含めた形の中で検討されるべきではないかと思っており、含めて検討されるべきではないかということをちょっと言っておきたいなと思います。以上です。ええです。

○議長（山田 道治君） 答弁いいですか。

○議員（10番 平井 満博君） はい。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

9番。（「あるなら言えな、10番、10番」と呼ぶ者あり）10番。

○議員（10番 平井 満博君） 町長、どういう思いをお願いします。（発言する者あり）

○議長（山田 道治君） 討論とかいう内容については質疑に値しないと思いますので、ちょっと討論のほうでやっていただきたいと思います。

ほかに。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 債務負担行為、スポーツセンターの耐震改修という考え方、3億8,000万。私はこれ避難所というものだというふうに、避難所を兼ねてという形の中で、果たして今これが必要なのか。避難所ということであれば、小学校、中学校は耐震化してある。それに各旅館等の連携で私は可能でないかと。スポーツセンター自体の考え方も今考えるべき時が来ているんじゃないかというふうに認識していますが、いかがでしょうか、この3億8,000万。

○議長（山田 道治君） どなたか答弁を。

松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 避難所として必要だと私は思っております。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山田 道治君） ないようでしたら、質疑を終結し、進行いたします。

次に、歳入について質疑を行います。

事項別明細書の歳入の町税から手数料の農林水産業費手数料について、10ページから15ページまで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 町民税個人の分が120万ほど増額、法人税がマイナス250万、固定資産税が2,700万マイナスということで、私は消費税が上がれば各企業当然苦しくなって、マイナスはわかるんですけども、個人の給料も私、企業が苦しんで上がらないというふうに認識するんですけども、この上がる要素はどこから出てきたんでしょうか。

○議長（山田 道治君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 地方税法の一部改正がございまして、復興特別町民税の均等割が500円上がりますので、その増額分を見込んでおるものでございます。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 今言ったように、法人税のほうマイナスになっている中で、企業はやはり苦しいという認識をするわけですよ。その中での給料は、当然上がるどころか維持も難しいのかなと。町全体の仕事をする人、いわゆる税を納める方の人口も減ってくるんじゃないかという認識する中での、今言われた復興税のプラスが本当に増となって上がってくるのかというのが疑問に思うんですけども、税収としては、町の税収は非常に苦しい状況にあると、26年度は、私、認識しますけど、いかがでしょうか。

○議長（山田 道治君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 法人町民税でございますけれど、平成25年の法人税割が非常に芳しくない状況がございまして。そういった中で法人町民税の実績、平成25年の実績に基づいて見込んだものでございます。また、確かに町民税の均等割、所得割の人口は減少していく方向だというふうな認識でおりますけれど、現時点では、制度上、見込んだところはこういった形になったということでございます。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 税務課長に、なら、基本的に一番根幹となる税収は、26年度は非常に厳しいという状況は、持っておられるのかおられないのか。町の基幹的な税収であるもんが厳しい状況にあるのかなのか、その認識を最後にお伺いしたい。

○議長（山田 道治君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 特に固定資産税について、償却資産等は当然減少しとる仕組みのものでございますので、全体としては右肩下がりというような認識をしている状況でございます。

○議員（9番 福田 茂樹君） 厳しいか厳しくないか。

○税務課長（石原 伸二君） 厳しい状況だというふうに認識しております。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 12ページの自動車取得税交付金が前年度は1,000万からあったものが半減というのは、どういう状況でこういう試算をされたのか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） これは、毎年県から推計が出されます。それで、今回の自動車取得

税交付金につきましても、県からの推計、通知に基づいて算定させていただいたものでございます。

○議長（山田 道治君） 10 番。

○議員（10番 平井 満博君） 算定どおりにこれは上げてあるということで、金額的にはまた動くという可能性はあるもんですか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） おっしゃるとおり、金額的には、実質的な取引の動向に応じて若干の変動があるものと認識しております。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ありませんか。

8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 10 ページですけど、個人の分の滞納繰り越し分と軽自動車の滞納繰り越し分、これはどのようにされているのか、広域連合等に任せっきりののか、そこら辺をちょっとお伺いします。

○議長（山田 道治君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 滞納繰り越し分につきましては、平成25年度以前の未納の見込み額に徴収率を乗じたものでございますが、分納誓約とか連合委託とかで対応をしているものでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） 8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 連合とかにそういうのを任せっきりで、町としては何も対応されていないのか、任せっきりののか、そこら辺をちょっと再度。

○議長（山田 道治君） 石原税務課長。

○税務課長（石原 伸二君） 納期内納付を基本としておりまして、現年課税分を優先し、徴収しているものでございます。連合に委託する場合には、分納誓約が不履行であるとか、なかなか督促、催告につきまして無反応であるとか、非常に時間がかかる案件であるとかについて連合委託をするものでございます。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（8 番 藤井 克孝君） いいです。

○議長（山田 道治君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、国庫支出金及び県支出金について、１５ページから２２ページ、学校教育費委託金まで、質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、財産収入から町債について、２２ページから２９ページまで、質疑ありませんか。

４番。

○議員（４番 能見 貞明君） 三徳山因伯名水の遊歩道の整備の件ですけれども、これは必要だと思われませんかを聞きたいんですけども。ページね、２８ページの下から４番目ぐらいですけど。

○議長（山田 道治君） どなたか答弁を。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） これは、財源に三徳山の因伯の名水の遊歩道整備事業に係る財源として過疎債を予定させていただきとるというものでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（４番 能見 貞明君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ありませんか。

〔質疑なし〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

続いて、歳出の議会費、３０ページから４１ページ、監査委員費まで、質疑ありませんか。

９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） ３３ページ、真ん中にある中学校の手づくり訪仏団、今回も補正で１００万の減額がありました。その前の決算も大体１９０万ぐらいで行われています。説明資料には前年と同規模と書いてありながら、予算はまた２８０万上げてあると。これはどういう考え方でしょうか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 特別旅費になるわけですが、燃料サーチャージ等の経費が上がったり下がったり、なかなか額が確定しないという部分がございます。それで、今年度もそういうことで補正し、補正しということがございましたけれども、それに対応するために高目の予算額を計上しとるということで御理解をいただきたいと思います。

○議長（山田 道治君） ９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） ２年続けて基本的には同じような金額で推移しとるわけですから、

それに合った金額を大体上げてくれば、もし足りないということであればそこでまた補正を、足らなかったということでされたほうが現実的ではないかと私は思います。

さらに、この事業はずっと続けていくんですか。当初は1年置きという話だったのが、いつの間にか毎年になってきている状況にあって、これは終結するときがないんで、ずっと続けていくんですか、この訪仏団は、考え方として。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 2点お尋ねでございます。

1点目は、ずっと変わらないから予算を下げてともいうお話でございますが、競争入札等見積もり入札する際の前提となる資料を作成する際に、どうしても高目の額が出てきておるということで、また新年度においても補正するというものないように対応させていただいたらということで、御理解をいただきたいということでございます。

それから、2点目の1年置きにという御意見でございますが、毎年ということで担当課長になった以降理解しておりまして、引き続き新年度以降も対応したいというふうに担当課長としては考えているところでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（9番 福田 茂樹君） はい。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 6番。33ページの三徳山周辺資源活用地域づくり検討委員会費というのがありますが、謝金だけではちょっと多過ぎるように思いますが、どのような内容になっているかお知らせ願います。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 三徳山周辺資源活用地域づくり検討委員会でございますが、三徳地域、あるいは小鹿地域周辺の活用策と環境整備策を検討していくものでございまして、有識者の方、あるいは行政関係の方、それから民間の方、県、町という形で委員会を立ち上げまして、現状把握でありますとか問題点の抽出、あるいは今後の活用策の検討等を行うものでございます。

○議長（山田 道治君） 6番。

○議員（6番 山口 博君） 委員会の規模は、どのようなことを想定しとられますか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 約15名程度を想定しております。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（6 番 山口 博君） はい。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ございませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 3 番です、よろしく。3 4 ページ、防犯灯設置事業補助金ですが、どのような形の補助を想定されておりますでしょうか。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） この防犯灯につきましては、昨年からやっておりますが、まず、蛍光灯をＬＥＤにかえるということで、環境に優しい照明ということで、補助対象経費を3分の2といたしております。最高3万円になるわけですが、新設につきましては3万円、同じ場所で更新をした場合には2万円、そういう事業でございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） そうしますと、いわゆる新設、それから、あったところをかえる、これどれくらいの数を用意されてますでしょうか。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 新設につきましては20基、更新につきましては20基、計40基を予定しております。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかに。

7 番。

○議員（7 番 清水 成真君） 33 ページ、説明資料は124 ページであります。ふるさと健康むら整備事業費3,300万円になっております。築20年以上経過している物産館、織物工房、陶芸工房、管理棟の4棟について、老朽化によって雨漏り、外壁等が損傷しているため、大規模な改修工事をするということですが、改修工事をするということで、今年度以降ずっとこういう事業、ものづくりのものを続けていくということでよろしいですか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） ふるさと健康むらは、現在、面的な整備をさせていただいております。ことしの夏には再オープンする形となっております。そのような中で、体験の部分といたしまして陶芸と織物、それから物産館部分ということで、休憩施設も含めながら、ふるさと

健康むら、再活用していただくような形で考えております。

○議長（山田 道治君） 7 番。

○議員（7 番 清水 成眞君） ということは、これからもずっとそういうような形で体験づくりでされるということでこの予算をつけられたということではありますが、現在までの利用数がわかれば教えてください。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 利用数と申しましょうか、体験者の数でございますが、年によって若干の変動はございますが、織物につきましては年間大体 2 5 0 人から 3 0 0 人、それから陶芸体験につきましては 5 0 0 人から 7 0 0 人という数字でございます。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（7 番 清水 成眞君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかに。

9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 3 5 ページ、ことしのメインイベント、デジタル事業 9 億 6 , 0 0 0 万、3 5 ページです。危機管理課長、ええですか。全額地方債という中で、これがどういうふうに三朝町に影響してくるのか、この地方債が今後、という点と、以前、2 0 集落からの先行投資をしたわけですね、防災無線に関して。それが結局は昨年マッチできなかったという点で、いわゆる二重投資になるんじゃないかと私は認識しますが、その点はいかがという部分と、たしか 2 年前の資料の中で、つくった後の維持管理費、いわゆる保守料、6 , 0 0 0 万から年間のを組んであったと思うんですけども、そういう点が考え方は今回の中には出ないわけですけども、その点はどういうふうに思っておられるか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 福田議員のまず 1 点目、9 億 6 , 0 0 0 万、全額起債なんだけれども、影響額はどうかという御質問についてでございます。

基本的に予算を立てる場合に財政指標というものを財政内部で立てさせていただいております。その推計を見ますと、その 9 億 6 , 0 0 0 万、確かに緊急防災・減災事業債を活用しながらということで、7 0 %が交付税算入ということで、推計いたしますと、ピーク時については、平成 3 6 年ないし 3 7 年がいわゆる実質公債費比率のピーク時になるんじゃないかなというふうに推計を立てておりますが、そのピーク時においても、おおむね平成 2 4 年度、2 5 年度ぐらいのピーク時になるんじゃないかなというふうに、同程度のピーク時になるんじゃないかなということで、

今推計を立てておるところでございます。

○議長（山田 道治君） 次に、松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 17集落の二重投資、25年度にやりかけてましたデジタル化につきましては、昨年ポシャってしまって、新たにということになったわけですけど、その原因としましては、当初の見込みが甘かったということが一つはあると思います。実績のない業者にそういうものを任せたということで、非常に御迷惑をかけたところでございますが、その17集落につきましては、今度新たに基本設計、今現在終わっていますが、戸別受信機、全世帯とか旅館等に全て配布するわけですが、この二重投資になるかというところで、昨年そのところが使えないという現象というか、そういう業者だったんですよ。だからやめてしまったと。今回、これから、基本設計終わりました実施設計に今入っているわけですが、実施設計の段階で、そういう集落にも全て同等に配布をするという今の計画にいたしております。二重投資になるかということですが、その辺の判断はいろいろあると思います。

それから、維持管理6,000万円につきましては、現在、実施設計を行ってますんで、この結果が出次第、その維持管理費というようなものは出てくるというふうに思っております。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 非常にやっぱり、まず大村課長の部分において心配をするわけがあります、これだけの起債をするわけだし、何ぼ70%返る云々にしても、今回特にいろんな投資をしてあるわけですから、非常に心配をしている部分があります。そこら辺の推移はしっかり把握していただきたいし、我々も見なきゃいけない部分だと思ってます。

松原課長の二重投資かどうかの判断は、17集落に配布してあるのと、さらにその上にまたデジタルをしていくわけですよ。そこに配っていく、防災無線の機器を、各家の。これを二重投資って言うんです、松原課長。私はそういうふうに認識しています。結局、去年の併用はできなかったという、使おうと思ったけどできなかった。今回使おうとしたのかどうかはわかりませんが、新たにその整備をしていくということは、二重投資って言うんですよ。執行部のこれは甘さがあったんじゃないかと、先行した17集落に対して、と私は考えております。

さらに、その保守管理料については、やはりある程度の段階で公表すべきだと私は思ってます。後出しじゃんけんにならないように。本当はなるんですけども、設計した後のことですから、つくった後の話ですから。だけど、これだけの保守管理料が発生しますよというのは、当然わかってくる話なんです。松原課長はおられんかもしれんけど、そのとき。早目に出していただければと。皆さんにも認識していただきたい。何千万の保守料が発生するんだよという、この工事をす

れば、というのを皆さんにも認識をしていただきたいということでもあります。二重投資ですわ。

○議長（山田 道治君） 答弁要りますか。

○議員（9 番 福田 茂樹君） じゃあ最後に一言、大村課長の部分も含めて。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 二重投資もいろんな考えがありますが、もう一つの件でございますが、できるだけ大まかに、固まってきた時点でないとなかなかそのお金の分は出てきませんので、何だい、あのときに少なかったでないか、これ多うなったでないかというようなことのないように、できるだけ早く皆さんにお伝えするようにします。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 福田議員の財政見通しについては、十分注視しながら財政運営を行っていきたいと思いますので、また御指導ありましたらよろしくお願いしたいと思います。

それから、二重投資についての財政の考え方をちょっと一言説明させていただきたいと思いますが、17 集落については、国の経済対策の中で、集落の放送設備を更新させるということに対して町が補助金を出した制度でございます。町が直接将来のデジタル化に向けて整備を行ったものではないと。そのあたりのところだけは御理解いただきたいと思います。以上でございます。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 34 ページのチャイルドシート購入助成事業、これの実績等も…

…。

○議長（山田 道治君） もう一回はっきり言ってください。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 34 ページ、チャイルドシートの購入、一番上。大丈夫ですよ。

こんなの実績等をちょっと。それでね、このチャイルドシートの予算が上がってますけど、子育てをするんだったら三朝町という、町長もよく言われるんだけど、もうちょっとこれを腹を太くして何とか、そこら辺をどのように考えとられるのか。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） この制度も昨年から実施をいたしておりますが、まず、上限としまして1万5,000円を補助するようにしております。倉吉のいろんなベビー品が置いてあるところ、これを、この補助金を決める前にいろいろ確認に行きました。した場合に、1万5,000円あるとJISマークの部分が大体買えるんじゃないかということで、それ以上の分、2万5,000円とか3万円、切りがないわけですが、1万5,000円で安全かつその利用、

便利なものがあるという判断をいたしましたんで、1万5,000円の補助を出すということになればそれなりのものが買えると、安全なものを買えるということで1万5,000円にしております。ですから、それ以上はちょっと、回転するとかいろいろなものがあるわけですが、これで十分だというふうに判断をしております。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（8番 藤井 克孝君） はい。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

4番。

○議員（4番 能見 貞明君） 36ページの文化ホール施設管理費2,000万ですけども、これ内訳わかりますか。

○議長（山田 道治君） 松原生涯学習課参事。

○生涯学習課参事（松原 照宗君） これは、文化ホールの委託費、それからエレベーターのワイヤロープの改修費、そういったものを計上しております。あと電気代ですね。そういったものでございますけども。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（4番 能見 貞明君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、民生費、41ページから46ページ、子ども手当費まで、質疑ありませんか。

7番。

○議員（7番 清水 成眞君） 45ページ、三代同居世帯子育て支援事業67万2,000円がありますが、これを出された根拠を教えてください。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） これにつきましては、三朝町の子育てを応援するという意味合いから、少子化対策の一つとして計上したものであります。現在、3世代の同居ということのメリットを考えたときに、親、子、孫、この3世代で一つの家の中で子供を見ていく、こういったことをすることによって定住化にもつながるのではないかと。また、安定した家庭環境の中で産むことによって、さらに子供もふえていくのではないかとという意味合いで、この事業を提案したものであります。以上です。

○議員（７番 清水 成真君） 数字のほうの、６７万２，０００円。

○町民課長（小椋 泰志君） 数字の内訳の部分としましては、三代の同居世帯の中で、保育園に通っておられない子供さんを家で保育されている児童さんについて、１人当たり一月４，０００円を出しますということで予算計上しております。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） 三朝町には、じゃあ４世代はないという認識でよろしいですね。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 名称上、三代という名称にしておりますけれども、当然４世代もこの三代以上ということで含まれると思っております。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

７番。

○議員（７番 清水 成真君） 別なのでいいですか。

４５ページ、アレルギー児童対策費であります。（発言する者あり）ええですか。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） アレルギー児童対策費であります。アレルギー児童、年々ふえているような気がいたしますが、去年ですかね、事故があったと。三朝町でないんですが、事故がありました。その対策につきましては、三朝町ではどのような対策をされているのか教えてください。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 清水議員おっしゃるとおり、全国の、どこかまちは忘れましてけれども、大きな事件がありまして、それを受けまして本町としましては保育士のアレルギーの対策の研修会というのを実施いたしました。先生をお呼びしまして、町内の保育士、正職員、臨時職員全部含めまして約８０名から９０名来たと思いますが、こういった研修会を開いて周知をして徹底するということにしております。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） 年々ふえている状況の中で、多分恐らく年度途中にもそういうような対策をされる子供さんたちがいるじゃないかなと思いますので、十分に対策を、事故防止をしていただきたいと思います。以上です。

○議長（山田 道治君） 答弁要りますか。

○議員（７番 清水 成真君） はい。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 徹底してやるようにしたいと思います。

○議長（山田 道治君） そのほか質疑ございませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 43 ページの高齢者交通費助成事業でございますけども、これは使用回数とか、そういうような制限は設定されておられるのでしょうか、年間を通して。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 高齢者交通費助成の年間の設定ということでございますが、現在実施している、社協に委託して行っている外出支援の状況をまずは勘案をさせていただきました。その中で、月4枚というふうな設定でございます。通院回数は人それぞれ、さまざまでございますが、今回ここに上げておりますのが通院以外のものというふうなこともございますが、現在通院というふうな基準の中で、年間に月1回より少ない回数というふうなこともございますし、あるいは月1回少しというふうな通院もございます。そういうような状況から月4枚の申請月からというふうなことでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかに。

4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 43 ページの臨時福祉給付金事業費というのはどういうものですか、これは。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） これは、このたびの消費税のアップに伴いまして、国のほうが、その消費税のアップの影響力を緩和するという意味合いで、税金の町民税の均等割がかかっていない低所得の世帯に対して、基本的には1万円相当を給付するという事業であります。

○議員（4 番 能見 貞明君） わかりました。いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 42 ページです。障害者等ホームヘルプサービス事業費ですけども、予定されとられる人数はどれぐらいですか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 26年度の当初予算の見込みでございますが、12名の方を想

定しております。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかに。

1 番。挙手して、番号を言ってくださいね。

○議員（1 番 石田 恭二君） 1 番。4 2 ページの障害者等グループホーム事業なんですけど、これは町内在住者の方だけでしょうか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 町内に住所を有する方でございます。

○議長（山田 道治君） 1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） ちょっと自分が疑問に思ったのが、結局、グループホームが町内以外、倉吉とか、グループホームに入るためにそちらに住所を移される方がいらっしゃるって、診断書等を提出する場所が、もともとの住まいがあったところに出される方と、今現在のグループホームの倉吉なら倉吉に出される方が、2 通りあるんですけど、その辺のところはどう何が違うんでしょうかね。結局、三朝町出身の方がグループホームに入るまでは町内の住所であって、グループホームに入った段階で倉吉の住民になるという場合の人と、2 通り、今、診断書なんか提出する場所があるんですね。もともとの三朝町に出される方もいらっしゃるんで、その辺の違いがわかれば教えていただきたい。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 住所地特例のことであろうかと思います。施設に入所なさった段階というのがどこの住所地かというふうなことで、その後の給付費等をどこの自治体が負担するかというふうなことでございます。既に例えば三朝町の住所で三朝町で施設に入所なさっている方が、例えば倉吉のどこかの施設に入所をされる。そういう場合は三朝町でございます。三朝町から、例えばどこかの自治体に転出されまして、そこの転居先のほうから施設へ入所というふうなことでございますと転居先のほうというふうなことでございます。住所地特例の扱いでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

5 番。

○議員（5 番 中信貴美代君） 予算書の 4 5 なんですけど、ファミリー・サポート・センター事業に予算が 2 3 2 万 9, 0 0 0 円計上されています。昨年度予算見たとき、町民課としてのファ

ミリー・サポート・センター事業には何も計上されていないので、特にことしこういう格好で計上された趣旨等、内容、事業は、お伺いしたいんですが。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 今年度の25年度につきましては、国の緊急雇用対策事業を活用しまして、こちらのほうに予算計上しております。ほとんど同じ額でございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 44 ページ、特別医療給付費、高校生等医療助成ですけれども、この割合について、中身をお願いします。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 割合でございますか。

新年度に初めてこの事業をお願いする際に、どれくらいの予算が必要かというふうなことは、現在、国保の情報をもとに積算をさせていただきました。現在は高校生相当の年代は145人おられるというふうなことなんですが、高校生相当の年代になりますとかなり受診をされる機会が少ないというふうなことで、その国保の情報をもとに積算をさせていただきました。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） この助成が、かかった医療費のどれぐらいを助成するのかということと、とりあえずそれを。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 特別医療費の助成制度、中学校までのものと同じというふうなことでございまして、通院ですと自己負担が530円まで、入院ですと1,200円までというふうな、自己負担は。それ以外のものについて助成をするというふうなことでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（3 番 池田 雅俊君） はい。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 9 番。43 ページ、長寿者お祝い事業130万、この中で町外在

住者という考え方の中で、昨年は10に対して、今回かなりふえている部分がどうしてなのかというのと、写真も、去年は5,000円に対しての百何十組に対して、今回2通りの分け方がし
てある、予算説明資料85ページですね。これがなぜなのかというのと、写真を受けられる、撮
られる方に対しては、基本的には希望だというふうに認識していますけど、その点はどうなのか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） まず1点目の額のことでございますが、対象者、説明資料85
ページに書いてございますが、百歳元気なまちで御長寿の方がかなりふえてきた、人数がふえた
というふうなことが大きな理由でございます。

それから、単価のところでございますが、これは25年度実際に実施してみまして、調整等が
非常に必要である。あるいは出張サービスというふうなこともございます。そういう際には非常
にスタッフが必要であるというふうなことで、その出張撮影の部分につきまして単価を上げさ
せていただいたというふうなことでございます。

それから……。

○議員（9番 福田 茂樹君） 町外在住者。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 希望ですか。

○議員（9番 福田 茂樹君） 希望もあるし、町外在住者がふえているという点。写真は希望を
とるのかということ。町外在住者がふえている点。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 写真の希望をとるかというふうなことでございますが、まず、
希望をとらせていただきます。無理に撮影をされるようにお勧めするものではございません。そ
ういう方につきましては、記念品という従来のものをお渡しをしているというふうなことでござ
います。

それから、町外在住者でございます。これにつきましては、町外の施設に入所をなさっている
というふうな方もございますので、そこが非常にふえているというふうなことではございません。
さき方の対象者の数、88歳以上等の方がふえているというふうなことで御理解をいただけたら
と思います。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 9番。記念品の、写真以外の方、いわゆる希望されない方という
意味合いでこれはとればいいんですか、では。施設に入っておられる方が、積極的に私も写真撮
ってとはなかなか言われないというふうに思うんですけども、その点は。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） おっしゃるとおりでございます。御家族等にも、そういう事業があるというふうなことは周知をさせていただきますし、それから入所をなさっているような施設の方についても、こういうような事業がありますというふうなことも御連絡等で周知をしているというふうなことでございます。したがって、希望をされない場合には記念品という従来型のものを実施していくというふうなことでございます。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 写真の撮影の仕方が2段階になったということは、町内の写真屋さんには配慮されたということですか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 25年度の実施状況を勘案しまして、その単価は、今回そこに計上しておりますようなものを上げさせていただいておりますが、従来どおりスタジオ、それから出張というふうなことは引き続きやっていくというふうなことでございます。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 配慮したかどうか。

○議長（山田 道治君） 答弁漏れ。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 答弁漏れ、配慮したかどうか。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 町内の2つの事業、写真……（発言する者あり）配慮っていうことではなく、その25年度の状況を勘案してというふうなことで御理解をいただきたいと思います。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

別の。9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 9 番。その下の敬老記念事業補助金、これもかなりふえているんですね。いいですね。どれかわかります、100万ほどの。これは、24年度決算において、各集落が手を上げるわけですから、34集落の1,161人の方に対して補助金を出している。全集落がしているわけじゃないんですね、これ。手を挙げた集落、事業を行った集落がやっている事業。言ってみれば集落が本来すべき事業だという私は認識しています、これは。あえて町が補助をする事業ではないと認識していますが、その点はいかがでしょう。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 百歳元気なまちづくりというふうな基本にのっとりまして、敬老記念行事をされる集落に対しまして2分の1相当の補助をするというふうなことでございます。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（９番 福田 茂樹君）　じゃあ、その２分の１が５００円が８００円になった理由は何ですか。

○議長（山田 道治君）　前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君）　２５年度の途中経過でございますが、２５年度の実際の申請状況を見まして、ほぼ８００円の倍は各集落が各個人に対して実施されているというふうなことで、今回８００円というふうな単価を出させていただきました。

○議長（山田 道治君）　９番。

○議員（９番 福田 茂樹君）　２４年度、２５年度５００円でやってて、そのときも２分の１だったんですか、なら。何かおかしい、今の答弁おかしいんじゃないですか。なぜ８００円になったか。２４年度決算もそうだし、２５年度予算も５００円なんですよ。２分の１なら５００円じゃないんですか。このまま座ったら私終わっちゃいますね。どうしましょうか。

○議長（山田 道治君）　座らんと答弁できない。

○議員（９番 福田 茂樹君）　２分の１というのは今初めて聞きましたけども、２４年度決算５００円、２５年度予算も５００円なんですよ。５００円が３％上がるのはわかりますよ。消費税分が上がるのはわかるんですけども、これが８００円になったという理由、２分の１という、ことしから変わったんですか、それは、なら。それとも実績が、昨年度、何十集落か知りませんよ。３０集落かどうか知りませんが、その実績が８００円だったから８００円にするという考え方なのですか。私はこれは各集落がすべき事業だと思いますよ。８００円に上がった理由がわからない、これは。

○議長（山田 道治君）　前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君）　この敬老記念行事が開始しましてからずっと単価５００円というふうなことで実施をしてまいりました。そういう中で、さまざまな、議員もおっしゃいました消費税等というふうなこともございます。そういう、ずっと５００円で参りましたが、見直しをさせていただきました。

○議員（９番 福田 茂樹君）　あとは決算の委員会でしょう。

○議長（山田 道治君）　いいですか。

○議員（９番 福田 茂樹君）　はい。

○議長（山田 道治君）　質疑を終結し、進行いたします。

次に、衛生費、４６ページから４９ページ、じんかい処理費まで、質疑ありませんか。

７番。

○議員（７番 清水 成真君） ４９ページ、予算説明資料は７２ページであります、使用済み小型家電収集モデル事業であります。使用済み小型家電機器等の再資源化に向けて、モデル地区を設定し収集を実施と書いてあります。この小型家電機器というのは、具体的にはどのようなものになりますか。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 既にこの１１月から各地区の公民館に青いボックス、収集ボックスを置いておりますけれども、小型家電というのは、いわゆる電気製品の、例えばドライヤーですとかデジタルカメラですとか、そういった電気製品と思っていただければ結構だと思います。小型の電気製品。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

７番。

○議員（７番 清水 成真君） これは再資源化に向けてモデル地区ということが書いてありますが、この集められた、今、電気製品を再資源にするということですが、町がその再資源をしてお金をもうけるというような感じでよろしいんですかね。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） これは、中部広域行政管理組合の事業として……（発言する者あり）ふるさと広域連合の事業としての一環であります。ですので、収集としては町が行いますけれども、その後の再資源の事業については、ふるさと広域連合のほうで取りまとめるという事になっております。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） 今、各地区全部にその青いボックスがあるということですが、モデル地区というのは、その各地区のこの意味合いでよろしいですか。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 今回予定しておりますのは、モデルとして中の谷のごみ置き場のところを、収集置き場ということでやっていきたいというぐあいに考えております。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

６番。

○議員（６番 山口 博君） ４９ページのじんかい処理経費でございますが、消費税アップは当然あるだろうと思いますけれども、それ以上の数字が出ておりますが、この辺は減量化等の努力というのも反映された数字が設定されているのでしょうか。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） このじんかい処理経費であります、この部分には、いわゆる収集運搬の委託業務の経費と、それとごみ袋を作成しております。そのごみ袋の作成費の2つを上げております。ここには当然消費税のアップ分が反映されてきますので、その分がアップしておるということでございます。

○議長（山田 道治君） 6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 今、消費税以外の分では、ごみ袋の製作する分がさらに上乗せになっているという考え方ですか。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 従前もこのじんかい処理経費の中にはそのものも含んだ、合わせた金額ということで計上をずっとしてきております。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） 47 ページ、予防費、予防接種のところですけど、高齢者の肺炎球菌ワクチン、風疹の金額が上がっているんですけど、これは今年度のその年齢に達する人たちの金額なんでしょうか。前年度を含めての金額なんでしょうか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 高齢者肺炎球菌ワクチンでございますが、これにつきましては、現在のところ5年に1度というふうなことでございます。これは、24年度から実施をしております、既に接種をなさっている方を省いた方で、26年度につきましては20%を見込んで計上させていただいております。

○議長（山田 道治君） 1 番。

○議員（1 番 石田 恭二君） 自分が思うんですけど、肺炎球菌ワクチンに関しては、県外の町村の中で全額負担をして、75以上の高齢者の人に接種することによって、医療費がかなり削減されたという結果も出てます。自分としては、やっぱりそのくらいやっても、5年に1回のことですので、やっていただきたいと思うんですけど、どんなもんでしょうかね、考えていただくことはできないでしょうか。

○議長（山田 道治君） この部分は、石田議員……。

○議員（1 番 石田 恭二君） あ、いいです。

○議長（山田 道治君） いいですか。

ほかにありませんか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 48 ページ、食育推進事業委託費ですけども、町が考えとる食育、
どういふことをお考えになっているのでしょうか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 生まれてからお亡くなりになるまでというふうなライフステー
ジにおきまして、食育というのはその都度かかわってくるものであると思っております。特に力
を入れておりますのが、保育園等での食育、実際に料理をつくってみるといふふうなことも重点
的に行っているというふうなものでございます。さらに、生活習慣病の予防というふうなことも、
この委託の中でお願いをしているものでございます。

○議長（山田 道治君） 3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） この委託費となっています、差し支えなかったら、どちらのほう
に委託されておるのか。

○議長（山田 道治君） 前田健康福祉課長。

○健康福祉課長（前田 敦子君） 食育の委託費は、町の食生活改善推進協議会というふうなもの
がございまして、そちらの方をお願いをして、説明資料にも書いてございますが、99 ページで
ございますが、糖尿病あるいは高血圧対策というふうなものに対してお願いをして委託をしてい
るというふうなものでございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

ほかに。番号言ってください。

5 番。

○議員（5 番 中信貴美代君） 先ほど山口議員のほうからありましたじんかい処理経費として上
げてある分の中で、ごみ袋のことなんですけど……（「ページ数」と呼ぶ者あり）ごめんなさい、
予算の49の予算説明、そのところで、じんかい処理経費として内容を聞かれましたが、その
中で一つちょっとお聞きしたいのが、ごみ袋、消費税上乗せということの販売になるでしょうか。
よろしいですか。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 販売の手数料としては、消費税のアップに伴う値上げということは
考えておりません。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（５番 中信貴美代君） はい。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結します。

しばらく休憩します。再開を１１時５分にします。

午前１０時５５分休憩

午前１１時０３分再開

○議長（山田 道治君） 再開いたします。

次に、農林水産費、４９ページから５５ページ、大規模林道事業費まで、質疑ありませんか。
６番。

○議員（６番 山口 博君） ４９ページの農地中間管理集積支援事業というのと、５１ページに農地中間管理事業というのがあるんですけども、この費目の関係性と、どういうふうな中身になっているかを聞かせてください。

○議長（山田 道治君） 真嶋農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋 峰和君） 農地中間管理集積支援事業といいますのは、農地流動化を進める手法として都道府県の段階に公的機関として新しく農地中間管理機構が設立されます。これに当たりますのが、今現在、農業農村担い手機構が受け持つ段取りとなっております。これに対しての農業委員会としての役割として、支援事業が新たに農業委員会の業務として加わりました。その中身としては、支援事業に対するのは、例えば農地所有者にこの中間管理機構に農地を貸し出すかどうかという意味確認、そういうものを農業委員会のほうで役割としてやるような業務となっております。

５１ページにつきましては、農林課の課長のほうでお願いしたいと思います。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 御質問にお答えいたします。

農地中間管理事業５１万円でございますが、今年度の農水省が出しております新たな農業、農政改革によりまして、農地中間管理機構というのが創設されました。その中で、農地の受委託の関係を農林課のほうで委託を受けるといような形でございます。その費用に、事務費といたしまして５１万円計上しております。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 51 ページの地域おこし協力隊活動費 398 万 6,000 円、これちょっと私よくわからないんですけども、57 ページの地域おこし協力隊活動費の金額が若干違うんですけど、これはどうしてでしょうか。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 今年度、地域おこし協力隊員を農林部分 1 名、また、ブランナール販売促進等に係る部分で 1 名ということで、2 名公募しております。事務費との違いで、活動費の中身の部分の積算の部分で変わってきております。以上でございます。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（4 番 能見 貞明君） いいです、わかりました。

○議長（山田 道治君） 7 番。

○議員（7 番 清水 成眞君） 51 ページ、メイド・インみささプロジェクト支援事業 300 万ついております。予算説明資料 102 ページであります。認証システムの構築、業務委託、認証組織の立ち上げと運営という形ではありますが、認証システムというもののちょっと細かい説明をお願いしたいと思います。

それと、業務委託であります。民間委託されるのかどうかであります。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） お答えいたします。

メイド・インみささプロジェクト支援事業ということで、認証システムの構築ということで上げております。これは、パソコン等を使いまして、システム等ありまして、その利用料を、業者になるわけですか、専門の業者に、構築のシステムの費用でございます。それで、これはあくまでも三朝町でつくられた農産物を、生産者の顔が見える形、また、農産物の生育状況等を、一応そういうもので販売に生かそうということで PR するために起こすものでございます。以上でございます。

○議長（山田 道治君） 7 番。

○議員（7 番 清水 成眞君） ということは、生産者の顔が見えるというシステムでありますので、恐らく生産者の情報等々が全て何か、バーコードでもないですけど、何かそういうものに組み入れられて、それを活用してメイド・インみささのプロジェクトという形での、何かそのイメージ的なものはそういうようなイメージでよろしいんですか。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 農産物にQRコードをつけまして、そのQRコードの認証を携帯カメラ等でその中身を見れるというような形になってくるという、そういうものを構築するものでございます。

○議長（山田 道治君） 7番。

○議員（7番 清水 成眞君） 業務委託という形でありますので、きちっとそのシステムが構築できるような形にぜひしてほしいと思いますが、よろしくお願いします。

○議長（山田 道治君） 答弁要りますか。

○議員（7番 清水 成眞君） いや、よろしいです。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（7番 清水 成眞君） いや、いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 50ページ、子ども未来わくわく体験推進事業の中身を。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 子どもわくわく体験事業でございますが、JA等が取り組んでおりまして、農業体験を小学生を中心にそういう取り組みを行っております。そこで、町内の参加者について、例年少ないもんでございますので、何とか学校等にもお願いしながら、農業体験を小さいうちからさせようということで取り組んでおります。そういう事業でございます。

○議長（山田 道治君） 3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 農業体験というふうに言われておりますけども、具体的にどういったこと、農業も幅広いんですが、その幅広いものを多くさせるというのか、何か一つの事業を、田植えとか米の収穫についてとか、そういったものに限定したものなのかという、その内容のほうをお聞きしたいんですが。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 農業のいろんな体験を子供たちにさせて、農業の楽しさ、また喜び、そういうものを子供たちにさせたいということで、田植え、またいろんな作物の生産、また、いろんなところに行って視察等、アグリキッズというような行事を組んで、年間通して活動を取り組むものに助成するものでございます。

○議長（山田 道治君） ほかに。

6番。

○議員（６番 山口 博君） ５１ページの鳥獣被害防止総合対策事業ですけれども、昨年に比べて大幅に減額になっておりますけれども、その辺の設定理由を。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 鳥獣対策事業費でございます。例年３年間の事業で、国の事業ということでワイヤーメッシュ等を何キロも３年間行ってまいりました。それで、区切りという部分も含めまして、今回、今年度は一応今までやった部分の維持管理の部分というようなことで、とりあえず区切りとしていた年ということで、そういうことで維持管理に伴う費用ということで今年度は計上しとる関係で減額になっております。以上でございます。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

７番。

○議員（７番 清水 成真君） ４９ページであります。農地中間管理集積支援事業であります、１０分の１０の事業ということであります。

最初の初日の細部説明によりますと、遊休農地とか荒廃農地の方々に、恐らく意識調査といえますか、利用されるかどうかの意識調査といえますか、そういうことがどうも言われたような気がしておりますが、これは人件費と考えてよろしいでしょうか。

○議長（山田 道治君） 真嶋農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋 峰和君） 議員が言われるように意識調査というようなことを考えております。それについては、臨時職員を雇用して情報収集したいと。それに農地台帳等について、それに対する反映させるということで、人件費の１０カ月分を考えております。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） 人件費ということでありますので、意識調査といえますか、利用調査をされた後、恐らく分析をされるわけですが、その分析をどのような活用される予定でしょうか。

○議長（山田 道治君） 真嶋農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（真嶋 峰和君） 円滑化事業は、中間管理の集積の支援ということで、機構が行う事業に対して、その情報を提供するというようなことを考えております。

○議員（７番 清水 成真君） 例えば荒廃農地、遊休農地を持っておられる方々が、これからこの農地を使う使わないという多分利用調査だと考えておりますが、恐らく相当数のものが出てくるんじゃないかなと思っております。

農業委員会としまして、きょう会長来ておられますが、その調査をどのように会長としてこ

の予算を活用したいのか、ちょっと会長の意見を聞きたいと思います。

○議長（山田 道治君） 山本農業委員会会長。

○農業委員会会長（山本 雅之君） 今の農地中間管理機構のそもそもの趣旨が、貸し手がいる場合と借り手がいる場合の時間的なギャップを埋めるために設けるという大きな趣旨がありまして、それは国が認めてくれたものです。それで大ざっぱに2年から3年をその機構の中で保有して、その保有してる間の経費として国が見ましょと、その間に新たな貸し手を機構として見つけていくと、その補助として市町村農業委員会があるんだと。今回の予算の中にはそれに対する調査費的な部分が入ってますので、これから出てくる数値によるとは思いますけど、三朝のようかなりの中山間地域が多い場合ですと、貸し手は出ても借り手が出ないという部分は国のほうでも十分認識しておりまして、そこの部分の検討はこれから随時やっていくんですけど、取捨選択というんですか、すごい奥地のほうまではやらないと、優良農地についての中心的に守っていかうという発想で、それも集積をかけてという考え方で国のほうも考えてますし、三朝農業委員会としてもその趣旨にのっとってやっていきたいとは考えております。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 51 ページのみささの味わい発信事業69万3,000円、どういうものでしょうか、説明資料ではちょっとよう探さんですけど。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） お答えいたします。

味わい発信と名前をつけておりまして、イベント等がございます。未来中心で行う食のみやこ、また城陽市等のイベント等で、そういうイベントに参加いたしまして三朝の特産物等をPRするものでございます。以上でございます。

○議員（4 番 能見 貞明君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

10 番。

○議員（10番 平井 満博君） さっき清水議員のほうから、メイド・インみささプロジェクト支援事業という部分の中で認証組織の立ち上げというのはこれからされると思うんですけど、そのシステムの構築という中でデータをそこの中に入れていかないけん。そのデータをつくるのは、その委託業者が一人一人のデータをつくっていくのか、農家がつくっていくのか、複雑な仕組みになると私は思うんです。基本的には以前、認証という部分はシールをつくって、そのシー

ルを販売する品物に張っていくという簡単なもんかなと思っただけですけども、ちょっとここがまだ複雑な感じでわかりにくいということの中で、そのデータを委託会社に依頼するのか、そこをちょっとお尋ねいたします。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） 現在考えておりますのが、委託業者と一緒にになりながら、地域おこし協力隊員等を含めて一応取り組みのほうを考えております。

○議長（山田 道治君） 10番、番号言ってください。

○議員（10番 平井 満博君） 10。基本的にはやっぱり農家がかかわりながらその部分をしていくということでしょうけども、認証組織というのは基本的にはこれからつくっていかれるということですね。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） そのとおり、認証組織をこれから立ち上げていきたいと思っております。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） 認証組織の中、検討されていくということでしょうけども、その以外の方々、組織を立ち上げた以後、その認証組織をいただきたいという段階でそれも加味されるということですか。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） あくまで認証組織というのは、その農産物が認証して大丈夫かという部分を含めての検討をする会だと考えておりまして、そういう部分の一応そういう方を集めた会を組織するという部分でございます。

○議長（山田 道治君） ほかに。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 52ページ、小鹿地区多目的集会施設耐震改修事業241万5,000円。どなたがあれするのか、こっちですか、担当課に聞きたい。所信表明の文章を読んでおられるのか。なぜか。読んでみますよ、14ページ、所信表明の、町長の。今後、人口減少等により公共施設等の利用、需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、長期的な視点を持って施設の長寿命化などを計画的に行う判断指針となる公共施設等総合管理計画の策定にも取り組みたい。この後じゃないんですか、するのは。違いますか。あ、あっちか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 議員の今ありました総合管理計画、これは単に施設、地区公民館ということではなくて、幅広い面の公共施設の総合的なあり方というのを国の指針に基づいて検討するものでございます。ここの地区公民館というのは耐震基準以前の建物でございまして、御存じのとおり避難所にもなっております。そういった関係で、待ったなしに耐震化について検討をしていかなければならない、判定していかなければならないという施設でございまして、担当課のほうの予算要求が上がってきた段階でそういう判断をしながら今回の予算に上げさせていただいているものでございまして、それと並行して、町内の全体の公共施設のあり方については国の指針に基づきながら考えていきたいというふうにするものでございます。

○議員（９番 福田 茂樹君） こっちが答えるの、大体。担当課が答えるんじゃないの、それ。

○議長（山田 道治君） どなたでも。

○議員（９番 福田 茂樹君） 担当課が答えるんじゃないですか、大体、本来。

○議長（山田 道治君） どなたでもいいと思いますけど。

○議員（９番 福田 茂樹君） どなたでもええ。

○議長（山田 道治君） うん、執行部……。

○議員（９番 福田 茂樹君） いや、それは違うよ。

○議長（山田 道治君） じゃあ改めて……。

○議員（９番 福田 茂樹君） 誰。

○議長（山田 道治君） 吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 失礼します。全体的な計画としては先ほど財務課長が言われたとおりですが、町民の安心安全のために町の地域防災計画における指定避難所でございまして、そういった待ったなしということで予算に組ませていただいております。以上でございます。

○議長（山田 道治君） ９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） この計画のもとにやるべきだと私は思っています。小学校の耐震、幾ら使ったんですか、だって。改めて今急いでするものではないと私は確認しております。いかがですか。

○議長（山田 道治君） 吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 今、指定避難所でございまして、緊急にやるべきだと思います。以上です。

○議長（山田 道治君） ９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） 小学校の耐震に幾ら使ったと思ってるんですか、あれだけ大規模

なものを。何ぼ指定されとると言いながらも、小学校で十分対応できると私は思ってます、今。いかがですか、それは。

○議長（山田 道治君） 吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 地域の拠点施設として大事なところでございますので、今やるべきだと思います。以上です。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 小学校、中学校、全て耐震化終わってますが、それぞれの近くにあるわけですけど、やはり小学校だけでは大災害には対応できない。したがって、そういう部分も今の言われるバンビセンター等も必要であるというふうに考えております。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

7 番。

○議員（7 番 清水 成真君） 53 ページ、ナラ枯れ対策事業であります。毎年出とるわけですが、予算説明資料で109 ページであります。10 分の10 の県の補助金ということで300 本を計画されてるわけであります。非常に被害がなかなかとまらないような状況でありまして、三朝町においても随分と景観も悪くなっているなというふうに感じております。そういう中において、今回210 万というわずかな金額でされるわけですが、もう少し予算を多くして抜本的にもうちょっと考えていくべきではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（山田 道治君） 岩山農林課長。

○農林課長（岩山 靖尚君） お答えいたします。

毎年ナラ枯れ対策ということで行っとるわけですが、この作業というのがどうしても木を一本一本、現地に行ってドリルで穴をあけて薬剤を注入、また枯れたものについては切り倒して処理をするというような施業でございます。この本数も300 本というようなことで計画しとるわけですが、その委託等も含めまして内容等も勘案したところ、妥当な本数というようなことで計上させていただいております。以上でございます。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（7 番 清水 成真君） いいです。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、商工費、55 ページから58 ページ、公園管理費まで、質疑ございませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 55 ページのプレミアム商品券発行事業でございますけども、全体像と、それから設定金額、それから発行量等をお知らせ願います。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） プレミアム商品券でございますが、目的といたしましては、消費税の増税に対します経済対策と、850 年記念事業を盛り上げるという目的の中で商品券の発行を考えていらっしゃるものでございます。

全体像でございますが、チケットを発行いたしまして、1 冊 1 万円で購入できるというチケットでございますが、このチケットには額面 500 円の券が 22 枚つづりということで、使っただけの金額は 1 万 1,000 円。それに加えて 850 年の記念事業を温泉街で展開をいたしますので、その中で使っていただけますプレミア部分としまして、850 円の利用券といいたしましょうか、商品券をつけさせていただいての 1 万 1,850 円相当分を 1 万円で販売をするというものでございます。

販売総額といたしましては、それを 2,000 冊を販売ということで 2,000 万円の販売総額となります。以上です。

○議長（山田 道治君） いいですか。

そのほかございませんか。

10 番。

○議員（10 番 平井 満博君） 56 ページ、先ほど能見議員のほうから、三徳山、因伯の名水の部分ですけども、1,500 万、この因伯の名水という部分に、我々この提案をされたときに、どこにあるんだやということの中で議論をしたわけですけども、基本的には県が半額補助ということの中でこの事業を取り組まれるということですけども、県がなぜ半額をつけるということの中でこの事業に対して認可したのか、経緯をお願いします。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 垢離取川にあります因伯の名水のところでございますが、こちらにつきましては昭和 60 年に県の因伯の名水に指定を受けております。そんな中で垢離取川までの不動滝、140 メートル奥に不動滝がございまして、現在、遊歩道があるわけでございますが、その部分が平成 4 年に町が県の事業指定を受けまして遊歩道整備したものでございますが、現在風雪によって歩くことができない状況の中で、国立公園に伴いましての施設整備という部分での考え方でございます。

○議長（山田 道治君） 10 番。

○議員（10番 平井 満博君） 先ほども申しましたけども、やっぱり町民も全く認識のない施設
というか、部分で、今度、産民もちょっと視察に行こうということでありますけども、半額とい
っても700万、800万町費をかけるということです、本当にこれから施設整備されてお
客さんが来られるという自信があるでしょうかね。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 国立公園に編入されますことによりまして、三徳山にはより多
くのお客様が来ていただけるというふうに考えております。そんな中で、そのような施設を充実
させていただくことによりまして、より満足いただけるエリアとしていきたいと考えております。
以上です。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 56 ページに観光施設整備費ということで32万3,000円、
歌碑の銘板の説明板のやり直しという形になっておりますけども、場所がどこにあるか等も含め
て、場所がわからないんじゃないかと思しますので、その辺のマップなども入るような形にはな
っておりますか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 想定としまして7カ所を想定しておりまして、現在、温泉街の
観光マップを、A4判の横でございますが、作成しております。その中には商店でございますと
か旅館さん、あるいはあらゆる施設等を図示しておるわけでございますが、その中に、現在その
7カ所の歌碑につきましても明記をしております。その部分につきまして説明板を整備をさせて
いただきたいというものでございます。以上でございます。

○議長（山田 道治君） 6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 別のやつやっていいですね。

○議長（山田 道治君） はい。

○議員（6 番 山口 博君） 三朝温泉開湯850年記念事業、2,300万という大きい金額
が積み上げられておるわけですけども、地元及ぼす経済的効果等のその辺の想定をどのように
考えてこれは設置されてるかを説明願いたいと思います。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 開湯850年記念事業、既に御説明をしておるところでござい

ますが、温泉をそのものの特徴を生かしながら三朝温泉をPRしていくという事業の中で、テレビ等を使いました広報部分、あるいはイベント部分、それから地域等と連携をしながらの誘客対策等を考えておるところでございますので、広く全般的にあらゆる効果があるものと考えております。

つけ加えましてでございますが、経済効果といたしまして、現在38万人のお客様がいらしていただいておりますが、この部分を40万人、さらにはそれ以上というような形での経済効果を期待しております。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（6番 山口 博君） はい。

○議長（山田 道治君） そのほか。

3番。

○議員（3番 池田 雅俊君） 56ページ、三朝温泉入り口観光案内広告塔設置事業、その下、三朝温泉観光誘導塔設置事業、これの2つで2,000万を超える大きな予算になっておりますが、果たしてこのような額を投資する意味合いがあるのかどうか、その広告塔等こういったものをお考えなのか、詳しくちょっと御説明をお願いします。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） まず、三朝温泉入り口観光案内広告塔設置部分につきましては、想定といたしまして、キューリー公園に電光掲示の誘導塔を設置させていただきたいとして計上させていただいてるものでございます。これにつきましては、三朝トンネルが開通をいたしまして交通の流れは緩和されてきているわけでございますが、そういった中で三朝温泉街を目指していらっしゃる町外からの観光客の方が、現在県道には道路の標識があるわけでございますが、暗くなったときに見にくい等がございますので、この部分には電光での誘導を表示したいと考えております。

それから、もう1点の三朝温泉街観光誘導塔設置事業につきましては、逆の温泉街の入り口となります東側の部分にイメージをそろえた形での、電光ではございませんが、道案内も記した形での誘導塔……。

○議長（山田 道治君） 池田議員、前を向ってください。

○企画観光課長（椎名 克秀君） を設置をさせていただきたいと考えているところでございますし、国道179号からの入り口という位置づけの中で、楽市楽座に観光誘導塔を設置させていただきたいと計上させていただいてるものでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） ただいまの御質問の中でこれだけの経費をかけてといったような御質問があったと思いますので、ここの部分の経費の内訳につきましては、予算説明資料の16ページのほうに、投資的事業のほうということで一般財源がどれぐらい必要になるかというようなあたりも含めて説明させていただいておりますので、また後ほど御確認いただきたいと思います。

○議長（山田 道治君） いいですか。

3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 観光誘導塔、東側の入り口、どの辺にお考えなんですか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 東側の入り口の想定でございますが、三朝高原の入り口の交差点でございますが、その周辺を考えております。

○議長（山田 道治君） 3 番。

○議員（3 番 池田 雅俊君） 現在ほとんど、例えば我々もそうなんですが、県外とかに行く場合、車にナビがついております。果たしてこのような電光掲示板みたいなものまで必要なのかどうか。昔は、今でも若干その名残が残ってますけども、三朝館の入り口付近に三朝温泉のいわゆる塔のような看板だけありました。そういったような、例えばキュリー公園でもいいでしょう、こういったものを電光の設置をして、時速60キロぐらいのスピードで車走るわけですよ、そのときにそれが果たして運転をしている人にきちんと伝わるのかどうか。ナビがついてればナビのほうに頼って来るわけです。トンネルに入ろうが入るまいが、例えば三朝大橋までは着くことができるわけです、ナビの指示によって。そういった便利な世の中になっておるにもかかわらず、これだけのお金をかける必要があるのかということをもう一度よく考えていただきたいと。本当でこの意味合いがあるのかどうかということですね。だから簡単な看板でいいんじゃないかということを提言したいですが、どのようにお考えでしょうか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） お客様からの声の中で、車でしたらナビもあるわけでございますが、そこを気づかずにトンネルのほうに行かれてしまって三朝温泉街を通り過ぎるとか、そういう声も多々入ってございますので、訪れていただく皆様により優しい温泉街ということで、よりわかりやすい形での御案内をしていきたいと考えてるところでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

7 番。

○議員（７番 清水 成真君） 先ほど山口議員が質問されましたプレミアム商品券でございます。

この事業は非常にいい事業だと私は考えております。そういう意味で、８５０年を記念とするということでありまして、なおもう一度お得感も出されているというふうに今聞かせてもらいました。恐らくあっという間に２，０００冊売れるのではないかなと考えておりますが、多分恐らく期限があると思いますし、もし２，０００冊あっという間に売れた場合、増刷される予定もあるのかどうかお聞きしたいと思います。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 先ほどのプレミアム商品券でございますが、２，０００冊発行されるということで、お一方３冊まで御購入いただけるような形で実施主体の商工会のほうは考えているようでございます。それ以降の部分につきましては、実施主体のほうでまた状況を見ながらという形になろうと思っております。

○議員（７番 清水 成真君） 期限。

○議長（山田 道治君） はい。

○企画観光課長（椎名 克秀君） 期限でございますが、お伺いしておりますのは、チケットは６月ごろに販売を開始をいたしまして７月から使用いただくことができるような形で、ことしいっぱい、２６年、年末までの期間を想定しておられるというふうに伺っております。以上です。

○議長（山田 道治君） ７番。

○議員（７番 清水 成真君） １２月３１日までというような今答弁だったと思いますが、できれば冬をかけて、もう売れたわけですから、年度末、３月３１日までというような形で利用券は使われるような形にするともっといいのかなと考えておりますが、その点はどうでしょうか。

○議長（山田 道治君） 椎名企画観光課長。

○企画観光課長（椎名 克秀君） すいません、先ほども申し上げましたが、実施主体が町の商工会でございますので、そちらのほうで御決定いただく事項だというふうに考えております。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、土木費、５８ページから６１ページ、住宅管理費まで、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

次に、消防費、６１ページから６３ページまで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 62ページ、災害情報マップ作成事業、これは誰が作成に当たられて、どのように町民に、マップをつくられてその内容を説明されるのかお聞きしたい。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 危機管理課がつくってまいります。以前に、4年ほど前でしようか、一度、各世帯全世帯に配布をいたしておりますが、それが今の実情に合っていないということがあって、変えたいという思いでございます。その内容としましては、県のほうが指定しました部落のレッドゾーン、そういうものを入れ込む、それから福祉避難所、そういうものも入れ込んでまいりたいと。例えば三喜苑と契約しましたので、福祉関係のそういう手当てが要る方はそちらのほうに避難していただくというようなこと、そういうことを盛り込んだマップにして、配布のほうはこれから検討をいたしますが、消防団、区長さん、いろいろあるわけですが、その説明をして配布をしたいというふうに思っております。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） 基本的には住民がかかわりながら、防災だけがこうですよという形の中でつくり上げていくのではなくして、地域住民の方の身近な部分が避難地というか、マップの中に組み入れていく仕組みをやっぱりきちんとしていかんと、行政だけがつくって、こう決めましたからそれに従ってくださいというようなマップでは何ら効果がないというふうに判断しておりますけども、住民の意見というか、住民との会話をしながら作成していくという考え方はないのかお聞きします。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 議員おっしゃるとおりでございます、作成に当たっている意見を集約していきたいと。したがって、区長さん等にも当然相談しながら、例えば横手ですと、横手の区長さん、こういうふうに考えてますがどうでしょうかというようなことまで踏み込んで、レッドゾーンはこうなってますと説明を兼ねて、こういうものに仕上げていきたいというようなことで進めてまいりたいと思います。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） そういった最初の答弁が防災課でつくるということだったもので、ちょっとそれは周知徹底ができないよということを言いたくてしたもので、そういったことをきちんとしてやってマップをつくり上げて、共有した避難ということの体制を明確にさせていただくことをされるべきだと考えておりますので。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 最終的には地区単位の区長さんのほうに集まっていただくような形になろうかと思いますが、それぞれの区の思いというものもありますので、そういう部分も取り入れていきたいというふうに思いますので、できるだけ住民にわかりやすく、避難所はどこであるというようなことを徹底してまいりたいというふうに思ってます。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 61 ページなんですけども、議案の説明のときにもわからなかったですし今もわからない。靴ですね、所信表明にあった靴。議案は昨年とほとんど変わっていないという説明だったです。唯一変わっとるのが消防団活動経費、ここが100万ふえてる。その下に消火訓練機材整備費100万、こういうのが新たに加わってる。この靴というのは、所信表明に出てくる靴が何で予算説明資料に載ってこないんですか。まずそれが1点。

その靴って幾らで何足なのか、それがどういう状況で配られるのか、いわゆる手を挙げた人に配るのか、こちらが配るのか。さらに、その靴というのは今どれだけ配備されているのかという点をベテラン課長に聞きたい。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） いなくなる課長というふうに言われましたが、答弁させていただきますが、まず、後段の幾ら買うかというの、全団員ですから330名、7,000円で購入予定でございます。当然入札にかけますのでそれ以下になると思いますが。

それから前段……。

○議員（9 番 福田 茂樹君） なぜ上がってないのか。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 町長の答弁の中に確かに安全靴がございました。私のほうが落としておりました。申しわけございません。

やっぱり消防というのは、安全靴、今回かなりの額で購入するわけですが、当然、山林火災とか、それから残火処理、ここでこれまでも長靴が溶けてるという、特に山火事……。

○議員（9 番 福田 茂樹君） それは聞いていない。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） いうことがございますので、そういうことでございます。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 答弁漏れがあるじゃないですか。

○議長（山田 道治君） どうやって配付するのか。

課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 配付方法は、消防団を通しての配付になります。

○議員（９番 福田 茂樹君） 希望をとるかどうかが、どこに配られているか。聞いとんないなあ、人の質問を。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 希望をとるということじゃなくして、３３０名全団員に出すわけですから、それぞれ配付をしていくということになります。

○議員（９番 福田 茂樹君） どこに配付されてるか、今段階で。誰かフォローしてえな。

○議長（山田 道治君） 松原課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 機動班に一部配付をいたしております。大瀬の多機能班とか西谷のキャフスとかそういう部分で、何足かはちょっとわかりませんが、配付はしてる場所があります。

○議長（山田 道治君） ９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） 今のお話だったら３３０人の約７，０００円、２１０万からの予算。これが予算説明資料に載らないというのは、非常に私は不信感を持ちますよ。課長、１万２万の話じゃないよ。予算説明資料の意味がない。大分探しましたよ、私。それでもよう見つけれなかった。あなたがこういうやり方したら、ほかの課長がまねしたら予算説明資料の意味がないじゃないですか。そこをちゃんと言っておきたい、この点。

さらに、全団員にということでした。以前調査をしたときに、例えば倉吉等におられる方に対しても配付するということですか、これは、全員にということですから。まずその説明資料のこと。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 説明資料につきましては、私の足らなかったところでございます。申しわけございませんでした。

それから、倉吉から通ってる団員、そういう方にも配付するかということですが、全団員ですから含まれます。

○議長（山田 道治君） ９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） なら、大瀬の例えば多機能班、今持ってる人に対しても配付していくということですか、あるいは西谷班。さっきのダブルのあれじゃないですけども、その点はいかがですか。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 当然今あるのは使ってもらってるわけですけど、交換等も

含めて考えておりますので330という数字を上げさせていただいてます。

○議員（9番 福田 茂樹君） 3回だったよな。

○議長（山田 道治君） はい。

ほかにありませんか。

○議員（9番 福田 茂樹君） 別の。

○議長（山田 道治君） 別の、9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 消火訓練機材整備費、61ページの100万、新たに出てきました。これは何でしょうか、議案の説明のときになかった。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） この機材につきましては、県の100%の補助を受けてやるものでございますが、発電機とか投光器とか、そういうものの購入経費でございます。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 今、投光器って言われましたよね。投光器って何ですか。がけをおりるやつですか。ばって、何かそういうの、あのとき、その説明を。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 火災は昼間だけじゃございません、夜も火災が起こることがございますので、そういう場合には発電機を持って行って、そこで火事の現場のほうを、投光器といって照らすやつがあるんです。その部分で投光器、発電機等を購入したいという意味です。

○議長（山田 道治君） 9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） その数は幾つで、どこに配付されるのかお聞きをしたいと思います。内訳です。

○議長（山田 道治君） 松原危機管理課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） まず、配付についてでございますが、配付は役場のほうの水防倉庫にまずは置いておきたいと。有事の際にはそれを持っていくということでございます。

○議員（9番 福田 茂樹君） 投光器は。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 数でございますが、そのほかにもございます、土のうを詰めるものとかございますが、現在予定していますのは水槽、これは消防用の水槽でございますが、操法用の……。

○議員（9番 福田 茂樹君） 議長、答弁が違う、私の聞いとることと。

○議長（山田 道治君） 質問に対する答弁を的確に答えてください。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 投光器は2機、発電機は1機でございます。

○議員（9番 福田 茂樹君） 役場に。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（9番 福田 茂樹君） よろしいって、3回終わった。

○議長（山田 道治君） 3回終わったか。

ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） ないようでしたら、質疑を終結します。

しばらく休憩いたします。再開を13時15分とします。

午前11時54分休憩

午後 1時15分再開

○議長（山田 道治君） 再開いたします。

まず初めに、午前中の福田議員の質疑の中で松原危機管理課長に答弁漏れがありましたので、まずそれを言っていただきます。

松原課長。

○危機管理課統括監（松原 茂隆君） 靴の予算がどこに含まれるかということでございますが、予算書61ページ中ほど、消防団員の活動経費632万9,000円の中に含まれております。説明資料では32ページに消防団活動経費掲げてますので、その中に含まれているというふうに御理解いただきたいと思います。

それから、消防の訓練機器整備費100万円についてでございますが、これにつきましては、100万円の内訳、先ほど発電機、投光器と言いました、発電機1機、投光器2機、それから土のうの袋詰め、これも1機、それから操法用でございますが、水槽2基、火点の標的1基、以上で100万を予定してるところでございます。以上です。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、続いていきます。

教育費、63ページから72ページ、学校給食費まで、質疑ありませんか。

6番。

○議員（6番 山口 博君） 小学校と中学校の遠距離通学の補助金が今回2キロまでに下げられました。それによって新たに対象となる区域をお知らせいただけたらと思います。（「65ペ

ージ」と呼ぶ者あり）ごめんなさい、65ページ。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 今回、小学校2キロ、中学校2キロということで減ずるところを決めたところでございます。対象となる集落ということでございまして、これまで補助に該当しない集落27が14集落になるものでございます、小学校が。中学校につきましては、補助に該当しない集落26集落が6集落になるものでございます。

○議長（山田 道治君） 6番。

○議員（6番 山口 博君） 西小校区の場合での具体的な対象集落、新たに加わる対象集落を教えてくださいませんか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 徒歩通学を2キロとしております。2キロ圏内にある集落ということで、大瀬、本泉、若宮、今泉、湯谷、森。西小校区では以上でございます。

○議長（山田 道治君） 6番。

○議員（6番 山口 博君） 新たに加わった集落が知りたいと。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 現行が、集落27はカウントしておりますが、その小学校4キロの範囲ということで御理解いただければと思いますけれども。集落名がちょっと4キロがあるかないかというのが、ちょっとお時間いただければと思います。4キロから2キロにある集落が対象になるということで御理解いただきたいと思います。（「後で」と呼ぶ者あり）後でその集落については……。

○議長（山田 道治君） 要求がないと……。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 後で、集落名につきましては若干の差異があってもいいませんので、はっきりしたことを答弁させていただきたいと思います。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（6番 山口 博君） 結構です。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 同じ質問ですけども、なぜこの時期に4キロから2キロにされたのか、その……（「小学校か」と呼ぶ者あり）小学校。説明をお願いします。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 基本的な考え方といたしまして、通学に係る費用については保護者負担を軽減していくということがございます。そして、町政全般の中で子供に係る経費については相当町も支援していくという基本的な考え方がございますので、新年度におきまして保護者負担を軽減することが、子育てをするなら三朝町という部分に加わっていくのかなというふうな理解をいたしております。

○議長（山田 道治君） 10 番。

○議員（10番 平井 満博君） 4キロということになれば歩いて出れば1時間かかるかなと思いますけども、やっぱり奥部に手厚く、地域の格差というか、そういう部分のないようなことの中で、やっぱり奥部に対して厚く支援するという考え方には立てないのかなと、そこをちょっと一つ。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 結局、奥部にいても里部にいても負担は同じようになるべきだという考え方のもとに、例えば2キロというのは小学校の歩く距離でございます。その部分というのは、どこに住所を置こうとも歩く部分というのは控除するのが平等ではなかろうかということに立って2キロということを定めておりますので、奥部であろうと里部であろうと、里部に手厚いという考え方は当たらないというふうに理解しております。

○議長（山田 道治君） 10 番。

○議員（10番 平井 満博君） 基本的には、やっぱり通学に対する時間的な部分もあるかもしれませんが、遠距離通学という文面からいっても、奥部の方々が費用が下がる仕組みのほうが私は子育て支援でないかなという、全てに通学助成を出すということが、言えば2キロ未満は出んちゅうのはわかるとるですけども、そうじゃなく、やっぱり遠距離の方にも手厚く支援してあげていくほうが私は妥当ではないかという判断をしておるということでございます。

○議長（山田 道治君） 答弁要りますか。

○議員（10番 平井 満博君） 要りません。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

6 番。

○議員（6 番 山口 博君） 64 ページにあります事業改革ステップアップ事業というのがあります。多分これは県の補助事業だろうと思いますけども、具体的な中身が教えていただけたらと思います。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 国の補助事業を受けまして、具体的には学校の先生の授業力アップということで、授業のための消耗品、備品等の購入に充てたいと、教材備品の購入に充てたいと考えております。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

4 番。

○議員（4 番 能見 貞明君） 64 ページの複式学級経費ですけども、説明書を読むと……（「もう一度お願いします」と呼ぶ者あり）

○議長（山田 道治君） ページをもう一回。（「もう一度」と呼ぶ者あり）

○議員（4 番 能見 貞明君） もうちょっと大きな声でね。64 ページ、複式学級経費とありますけども、これ2名のこれは人件費と解釈していいですか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） これは、学校の先生を町がお願いして県が配置をするわけでございます。本来、町が自主的に探すべきところでございますが、県にお願いするわけでございますので、その協力金として2名分。1名500万、2名分で1,000万円を県のほうに協力金として支払うものでございます。

○議員（4 番 能見 貞明君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

9 番、番号言ってください。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 9 番。いや、周り見て誰か手挙げるかなと思って。

まずは66ページの学校施設環境改善交付金事業1,200万、全天候型だったですかね、ランニングコース、いいですか。説明資料は166ページ、これは……（発言する者あり）いやいや、まだ質問してない。これはグラウンドを全部この全天候型にするのか、中のトラックだけするのか。さらに野球場はどうなるのか、あるいはサッカーのときはどうなるのかというのを聞きたい。ちなみに全天候というのは冬も雪が降ってもできるのか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 全天候型というのは、雨天の際に排水が非常によいということで、国立競技場あたりをイメージしていただければいいと思いますけれども、4メートルの80メートル、直線をイメージしております。中学校の河川側の桜並木の桜の木の下あたりを考えておりまして、野球、それからサッカー等と併用になるわけですが、そのあたりについては、野球の激しい練習については野球場を使うということですね。すみ分けは可能だというふうに理

解して、今回、事業着手をするものでございます。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 私のイメージからしたら、あそこを全部の校庭をやられるのかなと、トラックの部分をとというのをイメージしてたもんですから、ほんの短い距離、4 コースの 80 メーターといういわゆるコンパクトなコースということをもう一度確認をしたい。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 整備するところはコンパクトでございますが、土手沿いに舗装した部分がございますので、それらを使いながら短距離を主に、あるいは周回コース等々を考えておるところでございます。

○議員（9 番 福田 茂樹君） いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにございませんか。

8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 65 ページの教育振興費の中で小学校 A E D 設置事業、これはどこに計画されてるのか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 既に設置しておりますこれの維持管理費、維持経費というふうに理解しております。

○議員（8 番 藤井 克孝君） わかりました。いいです。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（8 番 藤井 克孝君） はい。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 69 ページ、正善院保全修理事業補助金 100 万円、正善院は宗教法人かどうかをお聞きしたい。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 宗教法人でございます。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 町に決算報告の義務のない宗教法人って町長答弁されましたけど、この焼けた本体は、その焼けた原因は天災ではないというふうに答弁をされましたが、その確認と、この 100 万円を入れようとする正善院は、国あるいは県の文化財に指定されているかどうか

か、本体が。簡単でいいですからお答えください。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 焼失につきましては、天災ではないというふうに理解いたしております。

あと、正善院そのものが文化財かどうかという御質問でございますが、正善院そのものについては文化財にはなっておりません。ただ……。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） ということは、この 100 万入れようとする正善院は、宗教法人であって国や県の文化財の指定を受けてない寺で、火災原因は天災ではないということで認識して、私の質問を終わります。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 68 ページ、先ほどの小鹿のバンビセンターと同じことであります。高勢地区と竹田地区の耐震化事業についてお聞きいたします。先ほどの危機管理課長だったら離れたところにいろいろ分散してつくるんだという中で、竹田地区は南小学校とひつついていという認識をしますけども、先ほどの町がつくる計画の中でこれはやっぱり考えていくべきだと私は認識しますが、その点はどうでしょうか。

……え、こっち。（「こっち」と呼ぶ者あり）公民館、こっちじゃないの。ちゃうか、あっち、失礼。

○議長（山田 道治君） 吉田総務課参事。

○総務課参事（吉田 弘幸君） 担当課で予算組ませていただきました。地域の拠点施設ということで、耐震診断につきましては災害時における指定避難所でございます。それから地域住民の拠点施設ということで、使用頻度が多いことがありまして耐震診断を行うということでございます。以上です。

○議員（9 番 福田 茂樹君） こっちかと思ってた。

○議長（山田 道治君） いいですか。

○議員（9 番 福田 茂樹君） はい、いいです。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 10 ページ、世界遺産登録推進職員人件費と、それから世界遺産

登録推進事業等を含めて、この世界遺産等の予算等が上がってますけど、国立公園になった中で今後もこれをずっと推進していかれるのか。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） これにつきましては、引き続き登録に向けて努力していくという事でございます。

○議長（山田 道治君） 8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 国立公園ちゅうのが今月登録っちゅう、許可が出ますよね。その中で世界遺産ちゅうの、これ本当で前向きな方向で考えてもいいのか、どっかでもう線を引かないけんのんか、そこら辺もちょっと含めて再度お聞きします。

○議長（山田 道治君） 遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 議案とは関係ないことになりますけれども、国立公園が登録になりますけれども、世界遺産、引き続き努力するという事で……。線を引くべきではないかという御指摘でございますが、線を引くべきではないというふうに理解いたしております。

○議長（山田 道治君） 8 番。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 先が見えないのに努力されるという、そこら辺をちょっとお聞きします、再度。

○議長（山田 道治君） 藤井議員、これは質疑とはちょっとかけ離れるかなと思いますので、別のステージでお聞き願いたいと思います。

○議員（8 番 藤井 克孝君） 別のステージね、わかりました。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。

遠藤教育総務課長。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） 先ほど福田議員の質疑につきまして、補足させていただきたいというふうに思います。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 議長、私が聞いたことには答えていただいた。

○議長（山田 道治君） 答えて……。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 聞いたことに対しては答えていっていただいておりますので、要りません。

○議長（山田 道治君） じゃあ結構です。

○教育総務課長（遠藤 英臣君） はい。

○議長（山田 道治君） そのほかございませんか。（「史跡、名勝に関しては」と呼ぶ者あり）

質疑にないから別のところで。（「議長、ちょっと議長のお許しを得てということになります
が」と呼ぶ者あり）ただいまの質問にないので別の機会で答えていただきたいと思います。

ほかに質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、災害復旧費、72ページから、予備費、74ページまで、質疑ありませんか。

10番。

○議員（10番 平井 満博君） 73ページの諸支出金、国民宿舎事業支出金についてですけども、前年度5,600万、5,000万という部分については、議会は5年間、平成20年から25年までは5,000万出資はいいよという話で来たわけですけども、今回また7,500万という額が出資されてますけども、これはどういう根拠で出資されるのかお伺いします。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） どういうことでということでありますが、この出資金につきましては国民宿舎事業の資金収支の改善を求めてと、考えてということでありまして、事業管理者の
人件費相当分、それと公債費の元金、利子、それから退職手当の特別負担金相当分について計上
させていただいてるものでございます。

○議長（山田 道治君） 10番。

○議員（10番 平井 満博君） 先ほども言ったですけども、平成25年までは議会として基本的
には5年間の5,000万という部分については了解をしたということの中で、逆にまだ、今回
認めるか認めんかの話になってくるでしょうけども、議会としては本当に7,500万という金
額が妥当かという判断をさせていただきたいと思っておりますので。以上。

○議長（山田 道治君） 答弁いいですね。

○議員（10番 平井 満博君） 答弁いいです。

○議長（山田 道治君） ほかにありませんか。

7番。

○議員（7番 清水 成真君） 正善院の補助事業について、これを出された経緯について再度詳
しくお伺いしたいと思います。

○議長（山田 道治君） もう一度質問していただけませんか。

○議員（7番 清水 成真君） 正善院の補助事業について、先ほど福田議員がされた……。

○議長（山田 道治君） そこは済んで72ページから74ページまでになっておりますので。

ほかにありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

次に、給与費明細書、75ページから最後まで、質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 今回の全体の予算の組み方の中で、以前に私は一般質問の中で変革のための行動計画2を出すようにという、答えの中で出していくという。1次が終わったときに、あのとき朝倉総務課長だったのでしょうか、そういうのは生きているという中で、今の体制になって第2弾を考えるという答弁をいただいたと思ったんですけども、そういうのをベースに……。

○議長（山田 道治君） 福田議員、これ一番最後のその他全般についての質疑のほうで。

○議員（9番 福田 茂樹君） その他じゃないか、まだか、失礼。

○議長（山田 道治君） まだ。75ページから最後までですので。

ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

最後に、その他全般について質疑ありませんか。

9番。

○議員（9番 福田 茂樹君） 先ほど言ったとおりの中で、変革のための行動計画、みずから単町を選んだ町の考え方をもとにつくられた予算をしてあるのかどうかお聞きをしたい。

○議長（山田 道治君） どなたに。

○議員（9番 福田 茂樹君） どなたがお答え、大村課長かな。

○議長（山田 道治君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 変革のための行動計画を策定をした後の我が町を取り巻く国、県等の財政にかかわる状況について、25年ぶりに過疎団体に編入が認められたということが大きな財政上の変化であろうと思っております。この変化は我が町の町民にとって極めて有効であり、有利であるという捉えをいたしております。

25年間の過疎団体になるための県並びに国に対しての働きかけについては、相当な精力を込めて働きかけを行ってまいりました。そうした経緯の中で有利な起債が活用できるという状況になっているあたりで、町民の皆さんの生活のためになる事業、ましてや以前は過疎債はハードの

面だけの適用でありましたけども、ソフトの事業等についても適用できるということに国が方向転換をしてきました。これは全国町村会等でたび重なる要望を展開した一つの成果であろうと思っています。そのことによって海外へ子供たちを派遣し、次の世代を担うリーダーの養成を図っていく、そういうことが、過疎債が活用できるということになったことも大きく子供たちの海外への研修の道を開いたというふうに思っておるところであります。そうしたことで、変革のための行動計画の指針は持続可能なそういった自治体を目指してということの基本に捉えておりますので、今後ともに議会と一緒に、このあたり努力していきたいと思っておるところであります。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 過疎債、有利な起債かもしれませんが、これはあくまでも借金であります。そうした中で、かなり手広くそれが今回の予算の中で使われていってる。本当にこの状態が適切なのかどうか、非常に疑問視をするところであります。町長が今言われた持続できる町政、単町を決めたときにそれが真っ先に来た。だからあの行動計画ができた。第2弾をつくるかという答弁のときに、つくるという答弁が出てきた。それをもとに反映してるかと思ったら、今は過疎債を中心とした部分に広がっていってると、有利な起債ができることになったと。非常に、でもこれは一つは危険性を持ってる使い方だと私は思っています。今回余りにもたくさんそれが出てきたもんですから、本当に単町での思いがこの予算の中にきっちりと込められているのかというのを少し疑問に思ったわけですから、今の質問をしとるところです。再度答弁。

○議長（山田 道治君） 吉田町長。

○町長（吉田 秀光君） 持続可能な自治体経営を目指してということにつきましては、議員と同じ思いで、きちっと精査すべきは精査をするという方向で今後も取り組んでまいりたいと思います。

○議長（山田 道治君） そのほかありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結します。

以上で議案第5号、平成26年度三朝町一般会計予算に関する質疑を終結いたします。

議案第6号、平成26年度三朝町国民健康保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第7号、平成26年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計予算について、質疑ありません

か。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 8 号、平成 2 6 年度三朝町介護保険事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 9 号、平成 2 6 年度三朝町簡易水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 0 号、平成 2 6 年度三朝町温泉配湯事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 1 号、平成 2 6 年度三朝町下水道事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 2 号、平成 2 6 年度三朝町集落排水処理事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 3 号、平成 2 6 年度三朝町分譲宅地造成事業特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 4 号、平成 2 6 年度三朝町財産区特別会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 5 号、平成 2 6 年度三朝町水道事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 1 6 号、平成 2 6 年度三朝町国民宿舎事業会計予算について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 17 号、三朝町職員の修学部分休業に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 18 号、三朝町職員の高齢者部分休業に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 19 号、三朝町空き家等の適正管理に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 20 号、三朝町子ども・子育て会議条例の設定について、質疑ありませんか。

7 番。

○議員（7 番 清水 成真君） 三朝町子ども・子育て会議条例、今出ておりますが、新しくこの会議をつくるわけでありますが、この会議の目的等々をもう少し詳しく教えていただければと思います。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 今回提案いたしております会議条例の内容でありますけれども、国のほうで子ども・子育て支援法が平成 24 年度に制定をされました。これに基づきまして、平成 27 年度から新しい新制度が施行されるということになります。この制度につきましては、いわゆる子供さんの保育に関してなかなか待機児童が減らないですとか、そういったことに対して国がさらに手厚い子育て施策を施行していくということになります。その中で、いわゆる子育て支援について各市町村がそれぞれ趣向を凝らした対策を話し合う場をつくるということと、もう一つは、子育て支援計画というものを、この 27 年度の施行にあわせて策定ということが義務づけられました。そのために、保護者でありますとか子育て支援にかかわる者であるとか、そういった委員さんを指名しまして幅広く意見を求めて、そこでこれからの子育て施策を話し合っていくという趣旨の会議条例であります。以上であります。

○議長（山田 道治君） 7 番。

○議員（7 番 清水 成真君） 平成 27 年度から新制度が始まるということですが、現制度との違いを簡単にわかりやすくお願いします。

○議長（山田 道治君） 小椋町民課長。

○町民課長（小椋 泰志君） 簡単に少しだけ申しますと、まず、今回の新制度によりまして一つ求められてますのは、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供ということがあります。これは認定こども園が既にありますけれども、この幼保一体型の認定こども園が、現在はいわゆる幼児教育の部分と保育の部分、これがそれぞれの所管課に分かれて認定こども園ができる、形態がいろいろあるんですけれども、これをいわゆるそういった分け隔たりなく一つの認定機関でこども園が認定できるというような、ちょっと説明が下手くそですけども、そういったことの制度の開始も一つあります。

もう一つは、保育の量的拡大、確保ということでありまして、いわゆる小規模保育ですとか企業内保育、今までは私的にこれを行っておったんですけども、こういった施設に対しても、認定を受ければ国なりの援助を受けながらこれが運営できるというようなことになっております。

もう一つは、先ほど言いました地域の子ども・子育て支援の充実ということで、現在もさまざまな、例えば病児保育ですとか病後児保育、そういったものをさまざまやっておるんですけれども、こういったものを市町村の独自の発案で提起すれば、それが国の認める補助事業の中にも取り入れて運営ができていくというようなところ、以上の３点が新たに変わった内容であり、加わった部分というところであります。

○議長（山田 道治君） よろしいですか。

○議員（７番 清水 成真君） いいです。

○議長（山田 道治君） そのほか質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第２１号、三朝国民宿舎事業管理者の給与の特例に関する条例の設定について、質疑ありませんか。

９番。

○議員（９番 福田 茂樹君） 今回、これ５２万１，０００円から４８万１，０００円にする根拠は何でしょうか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 根拠といいますのは、基本的に特別職の報酬につきましては町長の報酬月額のおおむね何割相当分ということで定めておりまして、段階的に下げております。過去を振り返りますと５６万１，０００円、それから平成２１年あたりに５２万１，０００円と下げ

ておりまして、それについてもおおむね 70%、おおむね 65%といったような割合で下げてきておる経緯がございます。

○議長（山田 道治君） 9 番。

○議員（9 番 福田 茂樹君） この下げた 48 万 1,000 円の月額、町民に理解得られると思っておられますか。

○議長（山田 道治君） 大村財務課長。

○財務課長（大村 哲也君） 御理解いただけるものと信じております。

○議員（9 番 福田 茂樹君） 終わります。

○議長（山田 道治君） ほかに質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑を終結し、進行いたします。

議案第 22 号、三朝町職員の給与に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 23 号、三朝町基金条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 24 号、三朝町社会教育委員に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 25 号、三朝町立社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 26 号、三朝町農林漁業者健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 27 号、三朝町ホームヘルパー派遣手数料の徴収に関する条例の廃止について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 28 号、三朝町高齢者介護予防及び生活支援事業手数料徴収条例の廃止について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 29 号、町道路線の変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 30 号、三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 31 号、平成 25 年度三朝町一般会計補正予算（第 7 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 32 号、平成 25 年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 33 号、平成 25 年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 34 号、平成 25 年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 35 号、平成 25 年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 36 号、平成 25 年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 37 号、平成 25 年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 38 号、平成 25 年度三朝町財産区特別会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 39 号、平成 25 年度三朝町水道事業会計補正予算（第 3 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

議案第 40 号、平成 25 年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第 1 号）について、質疑ありませんか。

〔「進行」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 質疑なしと認め、進行いたします。

以上で質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題としております 36 件の議案のうち議案第 5 号、平成 26 年度三朝町一般会計予算、議案第 31 号、平成 25 年度三朝町一般会計補正予算（第 7 号）については、5 人の委員をもって構成する一般会計予算審査特別委員会により審査することとなっており、特別委員の選任は議長が指名することとなっておりますので、総務教育常任委員会から清水成眞議員、吉田道明議員、産業民生常任委員会から藤井克孝議員、平井満博議員、副議長、福田茂樹議員、以上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました 5 名の諸君を特別委員に選任することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 御異議なしと認めます。よって、総務教育常任委員会から清水成真議員、吉田道明議員、産業民生常任委員会から藤井克孝議員、平井満博議員、副議長、福田茂樹議員、以上 5 名の諸君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま付託いたしました議案以外の 3 4 件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山田 道治君） 御異議なしと認めます。よって、議案第 5 号及び議案第 3 1 号を除く 3 4 件の議案は、お手元にお配りしている議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会にその審査を付託いたします。

————— • —————

○議長（山田 道治君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午後 1 時 5 8 分散会

—————